

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：5/27～5/31

・ 5/27(月)

トランプ大統領の訪日、オバマ前大統領の広島訪問から3年、札幌市儀が突然議場で土下座、無許可でドローンなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、トランプ大統領の訪日については放送法上の観点および印象操作の点で問題のある場面が見られました。

・ 5/28(火)

優生保護法訴訟、トランプ大統領の帰国、文科省キャリア官僚を逮捕、在外邦人の国民審査投票などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、優生保護法訴訟については検証者の所感を記しました。

・ 5/29(水)

パワハラ防止法、桜田議員の発言、参議院一人区の候補者、改正放送法が成立、文科省のキャリア官僚が覚せい剤所持などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、パワハラ防止法については放送法上問題と考えられる箇所が見られました。また、桜田議員の発言および参議院一人区の候補者については検証者の所感を記しました。

・ 5/30(木)

桜田議員発言問題、日ロ外相・防衛相が協議、丸山議員「戦争発言」問題、「ロシア疑惑」問題、元在イラン大使書類送検、文科省キャリア官僚逮捕事件などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、桜田議員発言問題については放送法に抵触する可能性のある箇所が見られました。

・ 5/31(金)

北方領土をめぐる日露交渉、北朝鮮で外交官が粛清、森友学園問題、米政府がメキシコ産品に追加関税、丸山穂高議員の不適切発言などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年5月27日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙 岩田夏弥（JNN ワシントン支局長）</p>		
<p>検証テーマ：トランプ大統領の訪日、オバマ前大統領の広島訪問から3年 札幌市議が突然議場で土下座、無許可でドローン</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県沖の犬吠崎で貨物船衝突 ・4日連続で真夏日 ・トランプ大統領の訪日 ・オバマ前大統領の広島訪問から3年 ・札幌市議が突然議場で土下座 ・淡路島で土佐犬に襲われ飼育する男性が死亡 ・FCA がルノーに経営統合案 ・スポーツ報道 ・23Today 千葉県沖の犬吠崎で貨物船衝突 4日連続の真夏日 無許可でドローン 無形文化遺産伝達式 ・天気予報 トランプ大統領 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランプ大統領の訪日：結論→やや不十分 <p>トランプ大統領の訪日について取り上げられていた。VTR では以下に朱記したように取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「令和となつてからはじめての国賓として来日中のアメリカ、トランプ大統領、今夜、皇居宮殿では宮中晩餐会が開かれ両陛下や皇族方のほか、日本とアメリカの関係者 165 人が出席しました。陛下は挨拶の中で日米間の関係が深みを増している、とした上で、」</p> <p>天皇陛下「希望にあふれる将来に向けて世界の平和と繁栄に貢献していくことを切に願っております。」</p> <p>ナレ「トランプ大統領は令和の由来になぞらえ、こう挨拶。」</p> <p>トランプ大統領「美しい調和の精神の下、新しい時代における多くの可能性をともに祝福します。」</p> <p>ナレ「トランプ氏は三泊四日の予定で日本に滞在しています。来日二日目の昨日、安倍総理は朝から晩まで、トランプ氏と一緒に、おもてなしづくしの日となりました、昨日の朝はゴルフでスタート、首相官邸のインスタグラムは歯を見せて笑う両首脳の自撮り写真を公開しました。ゴルフの後、二人はアメリカ産牛ニクを使ったダブルチーズバーガーやフライドポテト、サラダを食べながら 20 分ほど会談したそうです。」</p> <p>"ナレ「このあと、厳重な警備の中両首脳は。」</p>		

場内アナウンス「ドナルド・J・トランプ、アメリカ合衆国大統領両夫妻が入場されます、皆様拍手でお迎えください。」

ナレ「大相撲夏場所の千秋楽を観戦するため両国国技館に、多くの観客が歓声を上げながらスマートフォンなどでトランプ氏を撮影しました。」

ナレ「トランプ氏は優勝した朝の山席に大統領杯を授与。」

トランプ「アサノヤマ・ヒデキ、アメリカ大統領杯を授与します。5月26日令和元年。」

"ナレ「そして、両首脳が最後に向かったのは、東京六本木の炉端焼き店です。この日二人は移動時間を除いて長い時間をともにし親密ぶりをアピールしました、異例とも言える艦隊について日本政府は。」

日本政府「日本としてできる限りのことをしたと思います。」

ナレ「こうしたおもてなしに対して米メディアはチクリ。」

ワシントン・ポスト紙（26日）「トランプはほぼ観光客として一日を過ごした。」

AP通信（26日）「世界の指導者たちがトランプ大統領のご機嫌をとろうとしてきたが日本の安倍晋三が日曜にそのハードルを上げた。」

ナレ「そして、来日三日目となった今日、皇居宮殿を訪れ、出迎えた天皇皇后両陛下と握手を交わしたトランプ大統領夫妻。儀仗隊による歓迎行事が行われました。会見では陛下とトランプ大統領が、雅子さまとメラニア婦人が通訳を交えず英語で話し込む場面も見られました。贈り物の交換も行われ両陛下から大統領へは陶磁器の飾りばちが、トランプ大統領夫妻から陛下にはヴィオラが送られました。そして、午前11時過ぎ、日米首脳会談が始まりました。最大のテーマである貿易問題についてこんな発言が。」

"トランプ大統領「貿易についてはおそらく8月に両国にとってすばらしいことを発表することになるだろう。」

ナレ「この発言を聞いた安倍総理、一瞬表情が変わります、7月の参院選が終わってすぐの8月に貿易についての成果を出すよう、安倍総理にプレッシャーを掛けたのでしょうか。首脳会談は当初の予定の二倍近いおよそ二時間にも及びました、その後拉致被害者家族会との面会に望んだトランプ大統領。」

トランプ大統領「私達はあなた方の家族、娘さん、息子さん、お母さんを帰国させるためにともに取り組む、なあ、シンゾー？」

ナレ「拉致問題の解決に向けて意欲を示しました。」

飯塚繁雄さん（田口八重子さんの兄）「トランプ大統領本人としてはやはりこの問題をなんとか解決したいんだという意気込みを感じました」

"ナレ「午後三時過ぎに始まった安倍総理とトランプ大統領による共同記者会見。」

安倍総理「ドナルドとの非常に親密な個人的信頼関係により日米同盟の絆はもはやゆるぎのない世界でもっとも緊密な同盟になりました。」

ナレ「ドナルド、とトランプ大統領をファーストネームで呼ぶなど日米の蜜月ぶりをアピールした安倍総理、ただ、懸案の貿易問題については、」

トランプ大統領「アメリカの目標は対日貿易赤字を減らしアメリカの輸出を高生活有益に促進するため障壁を取り除くことだ。」

ナレ「一方で日本からの輸入品の関税を巡っては言葉を濁す場面も。」

記者「(日本の)自動車や自動車部品に関税を今後六ヶ月間課さないとトランプ氏から言質取れたか？」

トランプ大統領「私もその答えが知りたい。」

安倍総理「今、話があった自動車と自動車部品を含めてですね議論が行われています、今日、こうした議論を更に加速させていくってことでトランプ大統領と合意をした。」 "

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"雨宮塔子「ここからは JNN ワシントン支局長の岩田記者とともにお伝えします。よろしくおねがいします。岩田さん、その貿易問題については参議院選挙のあとに動くということなんですが、アメリカは日本に何を要求してくるのでしょうか。」

岩田夏弥 (JNN ワシントン支局長)「そうですね、あの、まあ結局トランプ大統領が離脱を決めた TPP をちょっと振り返ってみたいんですが、日本は農産物の関税を引き下げます、と、そのかわりアメリカ側は自動車などの関税を引下げてくださいね、とこういった合意だったわけなのですが、今回トランプ大統領はですね、まずはこの農産物の関税引下げ、これを TPP 並にやってくれということを求めてきそうですね。」

駒田健吾「仮に日本側がですよ、アメリカから入ってくる農産物にかかる関税を TPP 並に下げたとしたらじゃあアメリカは自動車などの関税を TPP 並に下げられるのでしょうか。」

岩田夏弥「そこが問題ですよ、で今のところこの自動車については関税を引き下げるところかむしろ、引き上げすらちらつかせている、まあ日本の要求には応じる気配がないような状況なんですね。更にあのいろいろな防衛装備品を買ってくれだとか日本の企業にアメリカに工場を作ってくれだとか投資をしてくれだとか非常に多くのことを要求してくるような状況なんですが、日本には見返りを与えると言った様子はないんですね。」 "

"雨宮塔子「でも貿易でこれだけ譲るんですから安倍さんとしては見返りに何を言おうとしているんですか。」

星浩「まずはその北朝鮮問題がありますよね、この問題は日本だけではなかなか解決できないわけでとりわけ今、日朝首脳会談を模索しているのですが、なかなかその金正恩委員長に通じるパイプを探せない状況になってますからトランプ大統領にその仲介をしてもらわなくちゃいけないというのがあります、それから拉致被害者家族と今日も面会してもらって日本国内外にアピールをするという点でもね、トランプさんの力を借りなくちゃいけないというところはありますよね。」 "

"駒田健吾「安倍総理は今日の会見でこう話しているんですね。日朝首脳会談は現時点においてメドが立っているわけではない、と。では道筋が見えてこない中でトランプ大統領頼みで見通しは開けるのでしょうか。」

星浩「まあ仲介をね、トランプ大統領に頼むということはあっても、最終的にはこの問題は日朝の首脳同士で打開しないといけない問題だと思いますね。それからさきほどの貿易問題ですけれども貿易問題もこれ基本的には日本とアメリカで win-win の関係でアメリカの牛肉の関税を下げるかわりに日本の自動車の関税も下げてくれよというところで解決しないと両方のためにも、両方にとってプラスにならないということを両方共考える必要があると思うんですね。」 "

"雨宮塔子「トランプ大統領は今後ね、その大統領選が本格化するタイミングで、日本から貿易でこれだけ成果を得たぞ、というのをアピールしたいと思うんですが、その大統領選がじつは厳しい状況だということですよ。」

岩田夏弥「そうですね、まあこちらですねフォックス・ニュース、アメリカのフォックス・ニュースが行った調査なんですが、もし今日、大統領選挙が行われたら誰に投票しますかという調査があるんですね。でこちらの民主党の方は今二十数人名乗り上げていますけれども、これ人気のある上位の三人と比べているんですね、で一番人気のあるこのバイデン氏が出てきた場合トランプ大統領とかなり差をつけていま、バイデン氏のほうが前に出

る（49%対 38%）、じゃあ二位のサンダースさんだったらどうかというですね、このサンダースさんでもトランプさんに勝っているんですね（46%対 41%）。じゃあ三位のウォーレン氏だったらどうかと見ますとですね、こちらも僅差なんです。トランプさんを上回っている、ということで、トランプ大統領は強いとは言われつつも、実際にはこういった調査を見るとそう簡単に再選できるような状況ともなかなか言えない、まあトランプ大統領としてはそれだけ若干の焦りもあるでしょうし、日本の参議院選挙が終わったあとでどうにかいいタイミングで自分が有権者にアピールできるような成果をこの貿易問題で日本との間で得たいという気持ちが非常に強いということですね。」

星浩「日本側も参院選挙を控えてね、安倍総理は日本国内向けにはアメリカの牛肉の関税を下げるかどうかはまだ決まっていませんよ、と言いつつ、アメリカ側には下げるかもしれませんよ、という匂わせるというそういう今苦しい対応を迫られるわけで日米ともその国内のね、選挙事情を睨んでの首脳会談だったということができますね。」

このトピックについて当てられた時間は 739 秒だった。

スタジオでの議論では日本側の農産物の関税引下げとアメリカ側の自動車の関税引下げがバーターで、アメリカから自動車の関税引下げを引き出せないのであれば日本だけ農産物の関税引下げであれば日本にとってはマイナスという論調であった。

確かに日本が農産物の関税引下げを受け入れることで不利益を被る人がいるのは否定できない、しかし農産物の関税が下がることで食料品をより安価に入手できるようになるという点では、アメリカからの自動車の関税引下げがなく、日本が農産物への関税を引き下げるといっただけということになっても、日本側にとっては大きな利益を得ることができる。特に、食料品である農産物は生活必需品とも言えるため、日本産であることにこだわらない人々や低所得者にとっては海外の農産物の価格が今より安くなることの恩恵は大きいだろう。

また、日本の農業従事者の中でも日本市場にあまり重きをおいていないような人々にとっては日本が農産物に関税を引下げたところで、それほど不利益はないはずである。

このように、貿易問題や関税問題で国内の様々な人々の利益は多様であり、日本側の利害関係は決して一枚岩ではなく、農産物の関税引下げは日本国民にとってマイナスとは言い難い状況であるが、スタジオの論調はこうした他の日本国民の利害を甚だ軽視し、日本国内を主な市場としている日本の農業従事者の利益を代弁するような論調であり、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」および四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点からは不十分なものであったと言える。

・オバマ前大統領の広島訪問から 3 年：結論→特に問題なし

オバマ前大統領の広島訪問から 3 年経ったことに触れられ、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"記者「あのあたりですね、オバマ前大統領がここで演説をしたわけなんですけれども」

平岡敬「一番感じたのは彼は何をしに来たのかな、広島へ」

ナレ「元広島市長の平岡敬さん、広島に歴史に刻まれたあのコマをテレビを通してみました。三年前の今日、アメリカの現職大統領として初めて広島を訪問したオバマ前大統領。」

オバマ大統領（当時）「71 年前の明るく晴れた朝、空から死が振ってきて世界が一変した我々は恐怖の論理から

逃れ核なき世界を追求する勇気を持たなければならない。」

ナレ「演説後、被爆者をそっと抱き寄せたオバマ氏、多くの人が好意的に受け止めました。」 "

"小林康秀（報告）「原爆資料館の東館です、オバマ前大統領は見学後、自分で折ったという折り鶴を寄贈したというのですが、その折り鶴は今もこちらにこのようにして展示されています。」

来館者 A「死んだ人たちが浮かばれたのかな、と、この折り鶴に込めたオバマさんの気持ちが伝わってきたかな、と。」

来館者 B「日本人としてはありがたい思いがあります。」 "

"ナレ「一方で、オバマ氏が演説で原爆を投下したアメリカの責任について触れなかったことを平岡さんは冷やかに見ていました。」

平岡敬さん「オバマさんと安倍さんの政治ショーみたいになってしまった、結果的にね。それが僕は嫌だ。広島はね、そうした色んな人のパフォーマンスのために、舞台を貸しているわけじゃない、広島は貸舞台じゃないんだと。」 "

ナレ「核なき世界を訴え、ノーベル平和賞も受賞したオバマ氏、一方で、核兵器の開発に 30 年間で 1 兆ドルという莫大な予算を投じています、その後トランプ政権へと移行したアメリカ、核を巡る国際情勢はどう変わったのでしょうか、トランプ大統領はイラン核合意を一方向的に離脱、さらに来日直前の今月 24 日にはトランプ政権として二回目となる臨海前核実験を今年 2 月に実施したことを発表、トランプ政権は使える兵器として核兵器の役割拡大を目指す方針です。」

"松井一實（広島市市長）「被爆者をはじめ、核兵器廃絶の求める多くの方々の願いに背く行為でありまして、断じて許されるものではない。」

ナレ「広島市の松井市長は今日、今後一切の核実験の中止を求め、トランプ大統領に抗議文を送りました。」 "

"ナレ「一方、菅官房長官は」

菅官房長官「本実験というのは包括的核実験禁止条約において禁止されている核爆発を伴うものではないと承認をしています。」 "

"ナレ「平岡さんは核を巡る国際情勢はオバマ氏が広島を訪問した三年前より大幅に交代したと感じています。」

平岡敬さん「国際的に協力しなければ実現できない問題なんですね、そこでアメリカ一国主義でやっていてこれまでの議論の積み重ねがだめになったような感じがしますよね、肝心の日本政府が動かなければアメリカだっておそらく相手にしないだろうし。」 "

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されました。

"雨宮塔子「広島は貸舞台じゃないんだと平岡さんがおっしゃった、そのオバマさんの広島訪問から三年ですが、核兵器を巡る情勢はむしろ悪化していますよね。」

星浩「そうですね、オバマさんという人はね、演説は上手なんですけれども、なかなかその核軍縮を大きく進めるということはできなかったですね、それでもね、イランの核合意というのはオバマ政権の大きな一つの業績だったんですけれどもトランプ大統領はもう一方向的にそれを破棄して離脱しちゃったんだ、と、一方で北朝鮮は核を持っていると言っているのに、その北朝鮮に対しては融和的に出ているということでアメリカは迷走しているんですね。今回の日米首脳会談でも、そのアメリカの核政策に対して安倍総理の方からなにか注文をつけるという場面はなかったようですので、どうもその日本が核軍縮に向けてですね国際的にリーダーシップを取ると

いう助教はなかなか見られない状況になってきたということですね。"

このトピックについて当てられた時間は 319 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・札幌市儀が突然議場で土下座：結論→特に問題なし

札幌市議会での騒動について以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"松浦忠（札幌市議）「皆さん申し訳ありませんでした。」

ナレ「黒のスーツに黒のネクタイ姿で議場に現れた札幌市の松浦忠市議。今日、自らの懲罰動議に臨みました。」

"

"議員「立ち退きなさい、権限がないんだ、あなたには」

松浦忠「法律に基づいて私はやっておるんです。」"

ナレ「事の発端は今年 13 日、改選後初めて開かれた臨時市議異界のことで、この日最年長として臨時の議長を務めることになった松浦氏、これから本当の議長を選出するのですが。」

松浦忠「選挙についてはですね、立候補制、立候補制、はい。」

ナレ「議長は所属議員がもっとも多い会派から選ぶという札幌市議会の慣例を覆し、臨時議長となった一人会派となった松浦氏が突如、立候補制にすると言い出したのです。」

松浦忠「議長の選び方についてはですね、これは私はですね立候補制で、立候補でやるのがいいと思います。したがってですね、私は立候補を受け付けてそれによって議長の選挙を行っていくということにしたいのですが異議ありませんか。」

市議「異議あり！」

ナレ「他の市議たちが異議や動議を申し立てますが、松浦氏が耳を貸す様子はありません。」

松浦忠「いよいよ、私が議長にならないとだめになってきたなこれ。他に皆さんからこれに対する意見がないようですから、それでは立候補によってこの議長選挙に行います、はい、もう決定しました。」

ナレ「強引な議事進行に怒った市議たちは一斉に退出、一人残った松浦氏はその後八時間も議場に居座り続けました。その間本を読んだり、誰かに電話をしたり、傍聴に来た死因と議論を交わす様子も。」

松浦氏「あの、みんなは今職場放棄をしているんです、職場放棄。」

市民「呼びに行けばいいじゃないですか。」

松浦氏「いかないです。」

ナレ「ようやく他の市議たちが議場に戻り正式な議長が選出されたのは午後 10 時を過ぎてからのことでした。」

松浦忠「大変今日は有意義な時間だったと思っています。決して残念だなどと全然思っていない。」

ナレ「有意義だったと話し、議場を後にした松浦氏、しかし議会を空転させたとして今日、懲罰動議をかけられることになったのです。」"

"松浦忠「67 人の議員の皆さんに、深く陳謝を申し上げます。特段の寛容な措置をお願いを申し上げました、」

ナレ「10 分間反省と陳謝を繰り返した松浦氏、その後靴を脱ぎ、」

松浦忠「申し訳ありませんでした。」

高橋克明（札幌市議）「今までにああいう松浦さんというのは見たことがなかった、と、他都市の事例だとか今までの経緯経過を含めてですね慎重に審議をしてみたい、と。」

ナレ「松浦氏の懲罰は今後懲罰特別委員会です実関係等をもとに審議されます。」

このトピックについて当てられた時間は 272 秒で放送法上は特に問題は見られなかった

・無許可でドローン：結論→特に問題なし

国の許可を受けずにドローンを禁止区域に飛ばしたとして自称解体工の加賀隆司容疑者が逮捕されたこと、通行人がいる公園でドローンの急降下や急上昇を繰り返したという容疑者は容疑を認めた上で広い場所なら飛ばせると思っていたと供述したとことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・トランプ大統領の訪日：結論→やや問題あり

スタジオで岩田夏弥記者が「まあこちらですねフォックス・ニュース、アメリカのフォックス・ニュースが行った調査なんですけど、もし今日、大統領選挙が行われたら誰に投票しますかという調査があるんですね。でこちらの民主党の方は今二十数人名乗り上げていますけれども、これ人気のある上位の三人と比べているんですね、で一番人気のあるこのバイデン氏が出てきた場合トランプ大統領とかなり差をつけていま、バイデン氏のほうが前が出る（49%対 38%）、じゃあ二位のサンダースさんだったらどうかということですね、このサンダースさんでもトランプさんに勝っているんですね（46%対 41%）。じゃあ三位のウォーレン氏だったらどうかと見ますとですね、こちらも僅差なんですけど。トランプさんを上回っている、ということで、トランプ大統領は強いとは言われつつも、実際にはこういった調査を見るとそう簡単に再選できるような状況ともなかなか言えない、まあトランプ大統領としてはそれだけ若干の焦りもあるでしょうし、日本の参議院選挙が終わったあとでどうにかいいタイミングで自分が有権者にアピールできるような成果をこの貿易問題で日本との間で得たいという気持ちが非常に強いということですね。」と大統領選挙でのトランプ大統領の立ち位置について語るシーンがあった。

しかし、大統領選挙というのは全国での支持率そのまま勝敗の結果になるというようなものではない。問題は大統領選挙人をどれだけ勝ち取ることができるか、すなわち各州の大統領選挙人選挙での勝敗の組み合わせ事大統領選挙を決するカギである。つまり、大統領選挙の有利不利を論ずるには全米での支持率ではなく、各州での支持率を論じなければ、実際の有利不利を論じることにはできない。

例えばバイデン氏の方が支持率では上回っているとしても、トランプ陣営が過半数の大統領選挙人を勝ち取るような支持の集め方をしているという可能性も否定できない。

このように、大統領選挙のルールを踏まえて考えると、フォックス・ニュースの調査結果からは大統領選挙の有利不利を論じることにはできない。しかし、今回のスタジオでの議論では大統領選挙のルールに触れられずにフォックス・ニュースの調査結果から結果を占うような論じ方をしたために、トランプ大統領が大統領選挙においても不利な状況にあるという印象を視聴者に対して過度に与えてしまう恐れのあるといえるだろう。

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年5月28日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：優生保護法訴訟、トランプ大統領の帰国、文科省キャリア官僚を逮捕、在外邦人の国民審査投票		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市で19人無差別殺傷事件 ・優生保護法訴訟 ・「チバニアン」実現に暗雲 ・トランプ大統領の帰国 ・銚子沖の貨物船衝突事故 ・ネットいじめで発信者側の保護者を提訴 ・東京五輪チケット申込みを明日昼までに延長 ・文科省キャリア官僚を逮捕 ・副業ビジネスをめぐる西山ファームを一斉搜索 ・スポーツ報道 ・23Today <p>川崎市で19人無差別殺傷事件 優生保護法訴訟 刃物男に警察官が発泡 在外邦人の国民審査投票 FCA がルノーに経営統合を持ちかける ・天気予報</p>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優生保護法訴訟：結論→特に問題なし <p>優生保護法訴訟について以下に朱記したようにVTRで取り上げられていた。</p> <p>"滝口真衣（報告）「不当判決の文字が書かれた旗が、今、出されました。」</p> <p>ナレ「この裁判は旧優生保護法のもと、不妊手術を強制されたのは憲法違反だとして宮城県内に住む60代の女性と70代の女性が国に総額7150万円の損害賠償を求めたものです。全国7つの地裁で起こされている裁判ではじめての判決、仙台地裁は今日、旧優生保護法は違憲としたものの国の賠償責任は認めませんでした。」</p> <p>新里宏二（優生保護法被害弁護団共同代表）「全く予期しない判決でした、非常に憤りを思っています。」</p> <p>ナレ「今回の裁判で争点となったのは主に3つです、一つ目は旧優生保護法が憲法に違反するかどうか、これまでの裁判で国は主要な争点ではないと見解を示していません、2つ目は救済法を作る義務についてです、原告側は1996年の旧優生保護法の改正後、政府が救済法を作る義務を怠ったと主張、一方、国は当ても損害賠償を求めることはでき、立法の義務はなかったとしています、そして3つ目は賠償請求権の期限についてです、民法では賠償を請求できる権利を20年と定めていてその期限が適用されるかが争われたのです、今日の判決は仙台地</p>		

裁の中島基至裁判長は旧優生保護法は子を生ま育てる権利を奪うもので違憲との判断を示しました、一方、国が救済法を作らなかった責任は認めず、賠償を請求できる期間を 20 年までと定めていることについても相当な帰還で合理的、として、原告の女性二人の請求を棄却しました。」

"ナレ「判決後、原告の二人は。」

原告の 70 代女性「国の責任が認められないのは納得できません、国は私達被害者に誠意を持って謝罪してもらいたい。」

原告の 60 代女性「憲法違反であることは認めてくれたんですけれども、勝訴という判決をいただきましたかっと思えます。」

ナレ「判決を受け、原告側は控訴する意向を示しています。」 "

"ナレ「被害者救済を巡っては先月国会で一人あたり 320 万円を支給する救済法が成立していますが、原告側からは不十分との声も上がっています、判決を受けて菅官房長官は。」

菅官房長官「国の主張、これが認められたものと効いています、着実な一時金の支給に向けて全力で取り組んでいきたい。」 "

VTR をうけて、スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"雨宮塔子「旧優生保護法が憲法違反とされたのは画期的と言えるかもしれませんが、損害賠償は認められなかったということで原告の方にとっては釈然としない判決でもあるわけですね。」

星浩「そうですね、この憲法違反の法律が半世紀まかり通っていたということでもありますよね、この法律はその、国会で全会一致でできているんですね、国会の責任もあります、それからこの不妊手術を進めた厚労省、政府の責任もありますよね。それから強いて言えばねこの問題を大々的に取り上げることがあんまりなかったメディアにも責任があると、それぞれ重い課題を背負うことになると思いますけれども今度、裁判は更に続くので今回の救済法で 320 万円支給されるのでそれで終わりじゃなくて、今後その総理大臣とか厚労大臣が手紙を書くとかですね、それから国会に来ていただいて話をじっくり聞くとか、それぞれやはり丁寧な対応をしていただく必要があると思いますね。」 "

このトピックについて当てられた時間は 304 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・トランプ大統領の帰国：結論→特に問題なし

トランプ大統領が帰国したとのことについて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「トランプ大統領が最終日に安倍総理と訪れたのは去年、事実上の空母化が決まった護衛艦かがでした。」

トランプ大統領「アメリカ人を代表し、私達を守る皆さんの活動に深く感謝します。」

ナレ「この護衛艦かがには今後アメリカから 1 兆円以上つぎ込んで購入する最新鋭の戦闘機 F-35B が搭載される予定です。」

トランプ大統領「日本は同盟国の中で最も多く F35 を保有する艦隊を持つことになる。」 "

"ナレ「続いてアメリカ海軍の強襲揚陸艦ワスプの艦上で演説したトランプ大統領は今回の日本訪問について。」

トランプ大統領「本当に素晴らしく忘れられない日本訪問になりました。メラニアと私は新しい天皇皇后両陛下に深く感謝しています。」

ナレ「ゴルフに相撲観戦とおもてなし攻勢を受けた三泊四日、すべての日程を終えたトランプ氏は午後 1 時前、

大統領専用機に乗り込み羽田空港を後にしました。来月下旬には G20 首脳会議に出席するため、再び日本を訪れる予定です。」

このトピックについて当てられた時間は 114 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・文科省キャリア官僚を逮捕：結論→特に問題なし

覚せい剤や大麻を所持していたとして文部科学省初等中等教育局参事官補佐が厚生労働省麻薬取締部に逮捕されたこと、容疑者は取り締まりに対し「覚醒剤は使用するためにもっていた」と容疑を認めているということ。麻薬取締部は今日勤務先の文科省を自宅捜索していて容疑者の机からは袋に入った覚醒剤のようなものは注射器数本が押収されたとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 34 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・在外邦人の国民審査投票：結論→特に問題なし

海外に住む日本人が最高裁判事の国民審査で在外投票ができないのは憲法に違反すると訴えた裁判で、東京地裁は今日「国民の権利であり、制限は原則許されない」として違憲との判断をしたとのこと、判決を受け総務省は内容を精査して対応を検討するとしているとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 25 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・優生保護法訴訟

スタジオで星キャスターが「この憲法違反の法律が半世紀まかり通っていたということでもありますよね、この法律はその、国会で全会一致できているんですね、国会の責任もあります、それからこの不妊手術を進めた厚労省、政府の責任もありますよね。それから強いて言えばねこの問題を大々的に取り上げることがあんまりなかったメディアにも責任があると、それぞれ重い課題を背負うことになると思いますけれども今度、裁判は更に続くので今回の救済法で 320 万円支給されるのでそれで終わりじゃなくて、今後その総理大臣とか厚労大臣が手紙を書くとかですね、それから国会に来ていただいて話をじっくり聞くとか、それぞれやはり丁寧な対応をしていただく必要があると思いますね。」と、それぞれに責任があると、殊勝なコメントをしていたが、それを言うのであれば、全会一致で成立させた国会議員を選んできた当時の有権者の責任や、こうした法律や行政を追認してきた多くの有権者にも責任があるといえる。

また、国の責任で賠償と言ったところで、そのための資金は税金や国債発行でしかなく国民経済とは独立して調達できるものではない。雨宮キャスターはスタジオで「旧優生保護法が憲法違反とされたのは画期的と言えるかもしれませんが、損害賠償は認められなかったということで原告の方にとっては釈然としない判決でもあるわけですよね。」とコメントしていたが、仮に損害賠償が認められた場合、そのための資金はどのように確保すべきだと考えていたのだろうか。非常に気になるところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

まさか、こうした旧優生保護法を追認してきた世代よりも、旧優生保護法廃止後に成年を迎えた世代に負担させるような資金調達を念頭に置いていたわけではないとは信じたいが、仮に損害賠償の資金調達がそうした形で行われるのであれば、それはそれで現役世代からすると「釈然としない」と言えるのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年5月29日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：パワハラ防止法、桜田議員の発言、参議院一人区の候補者、改正放送法が成立 文科省のキャリア官僚が覚せい剤所持</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎 19 人死傷事件 ・パワハラ防止法 ・エベレストの山頂付近で大渋滞 ・秋の味覚「サンマ」に異変 ・桜田議員の発言 ・参議院一人区の候補者 ・災害警戒レベルの整理 ・ルノーと FCA が統合の動き ・改正放送法が成立 ・スポーツ報道 ・23Today <p>川崎 19 人死傷事件 パワハラ防止法 文科省のキャリア官僚が覚せい剤所持 線路に発煙筒を投げ入れた少年らを逮捕 エッフェル塔から滑空</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワハラ防止法：結論→不十分 <p>パワハラやセクハラ等の職場でのハラスメントを防ぐための新しい法律が今日国会で可決・成立したこと、ただ罰則規定がなく早くもその効果を疑問視する声も出ているとのことで以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「厚生労働省が作ったパワーハラスメントに当たるビデオ、」</p> <p>社員（厚労省ビデオ）「課長、例の企画書が出来上がったので目を通してほしいのですが。」</p> <p>課長（厚労省ビデオ）「全然わかってないな、部の方針がわかっているならばこんな企画書になるわけがないだろ、お前はもういい。」</p> <p>社員（厚労省ビデオ）「もういい。」</p> <p>ナレ「この上司の行為は身体的な攻撃とみなされパワハラに当たります。」"</p>		

"委員長「賛成 210、反対 14 よって本案は可決されました。」

ナレ「今日、国会では職場のハラスメント対策を強化する法律が可決、成立しました。セクハラ、パワハラ、妊娠や出産を巡るマタニティハラスメント、マタハラについては行ってはならない、と明記。またパワハラについてもセクハラやマタハラと同様に企業に防止策を義務付けられました、ただ、罰則規定は見送られました。法律ではパワハラを次のように定義。」

音声「優越的な関係を背景に業務上必要かつ相当な範囲を超えた言動により、就業環境を害する。」

ナレ「つい無意識にやりがちなプライベートに立ち入りすぎている事例です。」

上司（厚労省ビデオ）「ちょっと見せてみる。嫁さんの写真を待ち受け画面にしているのか。」

男性社員（厚労省ビデオ）「ちょっとやめてください。」

女性店員（厚労省ビデオ）「東山店長、来週の金余指に有給休暇を取得させてください。」

東山店長（厚労省ビデオ）「どうしてそんなに有給を取るんですか？ あっそっか、例の彼氏とどこかへ行くのでしょうか？」

女性店員（厚労省ビデオ）「え、いえ・・・」

東山店長（厚労省ビデオ）「今度写真見せてよ、ほらスマホとかにあるでしょう。」 "

"テロップ「街の声は」

人材関係女性社員（28）「話題がないなと思った時に急に彼氏いるの、とかパワハラされてるんじゃないかな、みたいなの。」

ナレ「部下に対して課題な要求はもちろんいけません但し要求が少なすぎてもパワハラになります。」

社員（厚労省ビデオ）「この二年間与えられた仕事といえば月に数回の研修生の送迎だけ。また、営業部に戻していただけるよう課長からお口添えいただけないでしょうか、」

課長（厚労省ビデオ）「仕事があるだけありがたいと思わないと。」

社員（厚労省ビデオ）「私はまた以前のように働いて、会社の役に立ちたいと。」

課長（厚労省ビデオ）「そう思うのなら空気を乱さないことだ。」 "

"電気関係男性社員（33）「これがパワハラに当たるってことですか。」

新入社員（24）「振られている人と振られていない人の差があるのはなんかどうかと思います。」

ナレ「不真面目な社員がいたとしても指導の仕方には注意が必要です。」

上司（厚労省ビデオ）「お前、業務中に仕事に関係のないサイトやスマホばかり見ているそうだな。」

社員（厚労省ビデオ）「調べ物をしていたんですよ、調べ物。」

上司（厚労省ビデオ）「調べ物じゃなくてネットサーフィンをやっているよね。」

社員（厚労省ビデオ）「事務所でサーフィンできませんよ。」

上司（厚労省ビデオ）「何だその態度は、この給料泥棒が。とにかく謝罪しろ、もう二度と仕事中にネットは見ませんと誓え。」

金融業社員（26）「日頃のコミュニケーションは大事だと思っていて、まあなるべくそういったことがないように、割とそういう環境づくりができればそれが一番いいのかなと思います。」

ナレ「大企業は来年4月にも相談体制の整備が義務付けられるため、厚労省は早ければ年内にも指針を策定する見通しです。」 "

また、VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"雨宮塔子「厚労省のVTRなかなか衝撃的でしたけれども、あの4月に思考された働き方改革関連法には罰則規定があるんですよね、でも今回成立したパワハラ防止法には設けられていないということで、実効性はどうなるんでしょうね。」

星浩「そうですね、働き方をよくしようという法案がどんどんできていますから、まあこのパワハラの法案は何となくやっとなってきたかなという感じですよ、聞いてみると全国の労働局に職場のいじめだとか相談があるのは年間7万件位あるらしいんですね、まずこの相談を受けてどういうふうに解決するかというのは一つ大事ですよ、それから今度、そのパワハラの法律を受けてですね、指針を作るんです、まあパワハラ当たりますよと、いふのを作るんですが、そういう際、取引先との関係とか弱い立場の人いますからね、そういう人達をどうやって守るかっていうのを最優先にしてもらいたいと思いますね。まあいずれにしてもパワハラ撲滅の第一歩になるといいんですけどね。」

このトピックに当てられた時間は327秒だった。

スタジオの論調では罰則規定がないことを問題として上げていた。他方でVTRやスタジオでの発言の中では今回の法律が大企業に適用されるということと言及されていたが、中小企業の扱いについては触れられていなかった。日本の企業のほぼ99%が中小企業であり、また従業員のおよそ7割が中小企業の従業員であることを考えると、罰則の有無よりも中小企業にも適用されるのか、ということのほうがこの制作の評価にも直結するはるかに重要な問題ではないだろうか。そうした重要なポイントに触れていないというのは放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」という点に照らしてやや不十分であると言える。

・桜田議員の発言：結論→特に問題なし

桜田前オリンピック担当大臣が出席した自民党議員パーティでの発言について以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

桜田前五輪相「結婚しなくなっただけいいって女の人が増えちゃったからね、自分たちのお子さんやお孫さんにはね、最低、三人ぐらい生むように寝、お願いしていただきたいんですよ。」

ナレ「辞任等の桜田前オリンピック担当大臣は今夜、自民党議員のパーティで出席者に対して人口維持の必要性に言及した上で子供や孫に最低三人ぐらい生むようにお願いしてほしい、などと呼びかけました。子供を生むことを強制するような発言と受け取られかねず、物議を醸しそうですが、桜田氏は先程様々な生き方が尊重される社会であるべきと考えており、それを押し付けたり、誰かを傷つけたりするような意図はなかった、などとするコメントを発表しています。」

このトピックに当てられた時間は56秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・参議院一人区の候補者：結論→特に問題なし

夏の参議院選挙に向けた動きが活発になって全45の選挙区のうち32のある一人区で立憲民主党など野党五党派が今日一人区での候補者の一本化で大きく前進したとのことで、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

枝野幸男（立憲民主党代表）「安倍政権を倒す、ということに向けて、候補者を一本化して、しっかりと戦って

まいりたいと思っています。」

ナレ「立憲民主党など野党五党派は今日午後、党首会談を開き今年夏の参議院選挙で 32 ある一人区のうち新たに 19 の選挙区で候補者を一本化することで合意しました、これまで合意した 11 の選挙区とあわせて 30 の選挙区で野党が候補者を統一したことになります。このうち、福井など 3 つの選挙区は共産党の候補者が野党統一候補となりました。野党五党派は今日合意できなかった鹿児島、宮崎の選挙区についても調整を急ぐとともに、解散総選挙に備えて衆議院の小選挙区でも候補者の一本化に向けて協議を加速させることで合意をしました。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが取り上げられていた。

"雨宮塔子「参院選の焦点となる一人区の野党候補が固まりましたが、これで対決の構図が見えてきますね。」
星浩「そうですね、参議院選挙はこの一人区の攻防が焦点になってまして、こう参議院選挙というのは安倍総理にとっても因縁がありまして、12 年前の 2007 年は自民党が惨敗したんですね、安倍さんがその後 9 月に退陣するという事になっちゃいました。一方 6 年前はですね、自民党は圧勝して 29 勝 2 敗ということで、さて今回はどっちのパターンになるかというのが焦点なんですよ。まあいずれにしても今回の参院選の一人区によって、一人区の野党側の候補が決まったということによって事実上、参議院選挙の号砲は鳴った、ということですね。」"

このトピックに当てられた時間は 138 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・改正放送法が成立：結論→特に問題なし

NHK の TV 番組を放送と同時にインターネットで配信できるようにする改正放送法が参議院本会議で可決成立したこと、今回の改正により全ての番組が 24 時間配信できるようにすること、一方で NHK のネット業務に対し民放側には民業圧迫になると懸念する声があり改正法では配信にかかる費用の公表を義務付けるなど、肥大化に一定の歯止めをかける規定も盛り込まれたとことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 33 秒で放送法上は特に問題は見られなかった

- ・文科省のキャリア官僚が覚せい剤所持：結論→特に問題なし

文部科学省のキャリア官僚が覚せい剤などを所持していたとして逮捕された事件で文部科学省の庁舎内にある容疑者の机から使用済みの注射器が見つかったことがわかったとのこと、麻薬取締部は容疑者が庁舎内で覚醒剤を使用していた疑いもあると見て調べているとことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 25 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

- ・桜田議員の発言

VTR ではナレーションが「子供を生むことを強制するような発言と受け取られかねず、物議を醸しそうですが」と言及されていたが、そもそも議場や街頭演説とは異なり議員のパーティというかなりクローズな場での

発言をニュースで取り上げておいて「物議を醸しそう」というのはなんとも白白しさを感じた。

また、ここで重要なのは議員パーティというクローズ、かつ参加者が自らの意思で話を聞きに来ているような場であることだが、こうした場での発言が取り上げて問題視されるようになってしまえば、こうした場でも当たり障りの無い話しか聞けなくなり、議員の本音を聞くことが一層困難になってしまい有権者が政治家を判断する材料が一層少なくなってしまうのではないのだろうか。

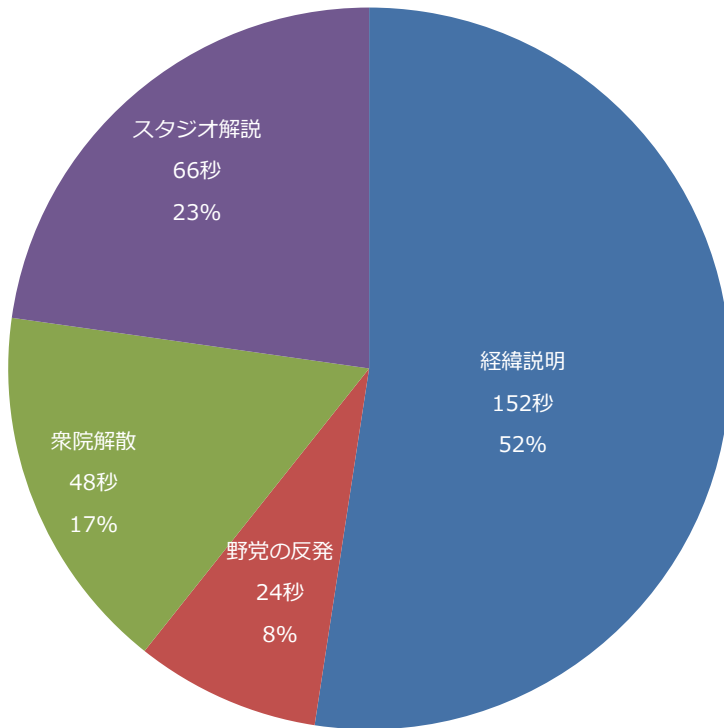
・参議院一人区の候補者

スタジオでは雨宮キャスターの「参院選の焦点となる一人区の野党候補が固まりましたが、これで対決の構図が見えてきますね。」というコメントやそれに対する星キャスターの「そうですね、参議院選挙はこの一人区の攻防が焦点になってまして、こう参議院選挙というのは安倍総理にとっても因縁がありまして、12年前の2007年は自民党が惨敗したんですね、安倍さんがその後9月に退陣するということになっちゃいました。一方6年前はですね、自民党は圧勝して29勝2敗ということで、さて今回はどっちのパターンになるかというのが焦点なんですよね。まあいずれにしても今回の参院選の一人区によって、一人区の野党側の候補が決まったということによって事実上、参議院選挙の号砲は鳴った、ということですね。」というコメントで、一人区とそうでない選挙区が並立しているということには何の疑いを差し挟む余地もないような論調であった。

しかし、冷静に考えてみると、都市部は一人区ではなく、都市部ではない都道府県が一人区で一人区こそが参議院選挙の焦点という構造があるのであれば、参議院選挙ではいわゆる「一票の格差」以上にこうした選挙区定数が都市部にとって不利な要因になっているのではないだろうか。また、票の価値が選挙区によって異なるということ以上に、選挙区によって異なる選挙区制度が適用されるということは「法の下での平等」という観点からは問題であると考えられるが、そうした点には全く言及がないというのは、視聴していてかなり奇妙に感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年5月30日
出演者：【キャスター】駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：桜田議員発言問題、日ロ外相・防衛相が協議、丸山議員「戦争発言」問題 「ロシア疑惑」問題、元在イラン大使書類送検、文科省キャリア官僚逮捕事件		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・川崎 19 人殺傷事件 ・桜田議員発言問題 ・警官が刃物男に発砲 ・外国籍児童の日本語教育 ・ドナウ川で観光船沈没 ・元銀行員妻殺害事件 ・日ロ外相・防衛相が協議 ・丸山議員「戦争発言」問題 ・「ロシア疑惑」問題 ・銚子沖で貨物船沈没 ・スポーツ報道 ・23Today 川崎 19 人殺傷事件 桜田議員発言問題 横浜 700 万円強盗事件 元在イラン大使書類送検 文科省キャリア官僚逮捕事件 <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・桜田議員発言問題→結論：放送法に抵触の可能性あり 今回は桜田元大臣が「お子さんやお孫さんに最低でも 3 人は産んでほしい」と発言したことについて野党が反発していることが報道された。それに加え、安倍総理が現在憶測が飛び交う衆参同日選挙の可能性について言及したことも伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 290 秒で、経緯説明・野党の反発・衆院解散・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。		



報道の内容は以下の通り。

雨宮 「続いては、桜田前大臣。失言防止マニュアルは読んでいたのでしょうか。」

駒田 「失言で大臣を辞任した自民党の桜田議員。子供や孫の方に最低3人は産んでほしいという昨日の発言に野党側が猛反発しています。一方、安倍総理は今日、永田町注目のあの風に自ら言及しました。」

蓮舫副代表（立憲民主党）「こんな古い発想をいまだに持っている方が大臣をやっていたこと自体が私には驚きでしかありません。許せない発言です。」

ナレーター 「蓮舫議員が怒りの声をあげるのは、自民党桜田議員のこの発言。『自分たちのお子さんやお孫さんには最低3人くらい産んでくれるようお願いしていただきたい。』昨日、自民党議員のパーティーで飛び出した、出産を強要するともとられかねない発言。桜田議員は押し付けたり、誰かを傷つけたりする意図はなかったとするコメントを出したものの、謝罪や撤回はしていません。桜田氏は今日、本会議場では笑顔を見せていましたが。」

"レポーター 「昨日の発言が問題になっていますけれども。」

桜田議員 「コメントしてありますから。」 "

ナレーター 「自民党議員による出産をめぐる問題発言は一年前にも。『新郎新婦にお願いをするわけです。必ず3人以上の子どもを産み育てていただきたい。』（加藤寛治衆議）加藤議員は誤解を与えたとその日のうちに撤回して謝罪しました。そして、今度は失言続きの桜田議員が同じような発言をしたのです。自民党は今月、相次ぐ議

員の失言を受けて、失言防止マニュアルを配布。そこには対策としてこんな記述が。周囲の喝采や同調に引きずられると、つい『公でいうべきことでない』ことを口走る可能性があります。しかし、桜田氏が所属する二階派の会合では。」

河村健夫元官房長官（自民党）「桜田先生の気持ちは我々よく分かる。理解する。激励の意味を込めてそういうことを我々もよく口にするウケを狙わなければいけないこともある。」

ナレーター「一方、野党側は。」

辻本清美国対委員長（立憲民主党）「失言マニュアルが効いていないことをもうすでに証明してしまったんじゃないか。」

ナレーター「ところで、失言といえるかどうかは別として、安倍総理から今日、こんな異例の発言が。」

安倍総理「風という言葉は今、永田町も大変敏感なんですけど、1つだけ言えることは、風というのは気まぐれで、誰かがコントロールできるようなものではない。ということであります。」

ナレーター「衆参同日選挙への憶測が広がる中、総理大臣の伝家の宝刀である解散を話題にしたのです。菅官房長官は。」

「記者「長官としては「解散風」をどう感じているか。」

菅官房長官「無風じゃないですか。」

雨宮「3人産んでという発言はウケるような発言ではないですし、なぜこうした政治家の発言は学習されることなく繰り返されてしまうのでしょうか。」

星「私は基本的に2つ無理解があると思うんです。1つは昔、日本でも産めよ増やせよという時代があって、しかしそういうことはやめましょうと。何人産むかというのは我々一人一人の権利なんだということを我々は勝ち取ってきたわけなんです。それからもう一つは今でも産みたい人はいるのに、産めないと。職場の環境とか給料とか教育の問題を抱えているわけですよ。政治家のやるべき仕事というのは産んで育てられる環境を作ることなんです。その無理解というか、分かっていないわけで、私は今回の発言は軽口では済まされないと考えます。それと、安倍総理が冗談交じりで解散風に言及したんですけれども、権力者ですので、私は解散権を弄ぶような発言は慎むべきだと思います。」

今トピックにおいては時間配分的な問題は見られなかった。しかし、スタジオ解説の中に問題が見られた。

星キャスターは解説の中で安倍首相が解散風に言及したことについて次のように述べている。

「安倍総理が冗談交じりで解散風に言及したんですけれども、権力者ですので、私は解散権を弄ぶような発言は慎むべきだと思います。」

解散権を弄ぶような発言と星キャスターは述べているが、過去、首相が解散権をちらつかせることで政局をコントロールしようとした例は多く存在する。これらの行為が解散権を弄ぶ行為であると断定することは難しく、その根拠についても番組内では述べられていない。この発言は事実に適するものかどうか大いに疑義が生じる。

今回は放送法第四条第一項三号「報道は事実を曲げないですること」に抵触する可能性がある。

・日ロ外相・防衛相が協議→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は日ロ外相と防衛相が協議する2プラス2が開催されたことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は57秒で、経緯説明が主な内容であった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・丸山議員「戦争発言」問題→結論：特に問題なし

今回は丸山議員の問題について衆院議運理事会で、外務省と内閣府の高官が丸山議員の問題行動について報告したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 36 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・「ロシア疑惑」問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回はトランプ大統領の「ロシア疑惑」について、捜査に当たった特別検事が初めて公の場で発言したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 36 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・元在イラン大使書類送検→結論：特に問題なし

今回は在イラン元大使がイラン大使館の中でセクハラを行ったという内容で告訴された問題について、警視庁が強制わいせつの疑いで書類送検したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 23 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・文科省キャリア官僚逮捕事件→結論：特に問題なし

今回は文科省のキャリア官僚が覚せい剤を使用していた疑いについて、使用に注射器が使われていたという新たな情報が伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 24 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感
特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年5月31日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：北方領土をめぐる日露交渉、北朝鮮で外交官が粛清、森友学園問題 米政府がメキシコ産品に追加関税、丸山穂高議員の不適切発言</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎 20 人殺傷犯の自宅から殺人扱った雑誌が押収される ・南海トラフ地震の新たな防災計画が決定される ・北方領土をめぐる日露交渉 ・北朝鮮で米朝首脳会談に携わった外交官が粛清 ・諸外国が受け入れ拒否で溢れるプラスチックごみ ・森友学園への国有地売却を巡り、国の売却額不開示は違法との判決 ・米がメキシコ産品に追加関税 ・有料老人ホームで孤独死 ・丸山穂高衆院議員の不適切発言について、衆院議長が地元市議会に謝罪 ・スポーツ報道 ・池袋暴走事故を引き起こした 87 歳男性、運転免許の取り消しが決まる ・上野動物園のパンダ「シャンシャン」、中国からのリース期限を延長 ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容</p> <p>・北方領土をめぐる日露交渉：特に問題なし</p> <p>今回の報道は、日露首脳会談に向けて、北方領土を巡る日露交渉の進展に関する報道であり、このトピックについて当てられた時間は 337 秒だった。</p> <p>国会論戦で、無所属で立憲民主党と統一会派を組む江田憲司衆院議員(神奈川 8 区)、および国民民主党所属の前原誠司衆院議員(京都 2 区)からの質疑について、それぞれ以下に朱記したやり取りが VTR で取り上げられていた。</p> <p>江田憲司(衆院議員、立憲民主党会派)「じゃあ 4 島返ってくるんですか。私は 2 島返還に舵を切ったと思っている。しかしそれすら危ぶまれているのが現状じゃないですか」</p> <p>安倍晋三(首相)「4 島における共同経済活動実現に向けた取り組みを今進めています。4 島も含めて両国の信頼関係をきちんと醸成していく、こういう新しいアプローチを進めていきたい」</p> <p>前原誠司(衆院議員、元外相、国民民主党)「日ソ中立条約をソ連が一方的に破棄して、日本の北方領土を不法占拠した。それが日本の立場であったわけですが、まさかこの点を 180 度ひっくり返して、まさか日ソ共同宣言に基づいて 2 島返してください、こんなぶざまなことはないですよ」</p> <p>安倍晋三(首相)「これはあの一、私どもの認識、そして法的立場は一貫して変わらないと。やはり静かな</p>		

NEWS23 週刊報告 詳細版

状況の中で交渉ができるかどうか、交渉が進められるかどうかはかかっている。」

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮キャスター「平和条約問題ですが、安倍総理は6月の日露首脳会談で大筋合意したいと言っていますが、それは厳しいでしょうか？」

星キャスター「今晚、総理に近い政府高官に訊いてみたのですが、平和条約の大筋合意は断念せざるを得ないということです。今後は6月末の日露首脳会談に向けて、経済活動の面の詰めを行っていくということで、領土問題については棚上げ、仕切り直しということですね。しかし、あれだけ打ち上げたわけですから、厳しい局面になったそこまでの経過を説明していただく必要がありますね。」

・北朝鮮で外交官が粛清：結論→特に問題なし

今回の報道は、北朝鮮で米朝首脳会談に携わった外交官が粛清されたと朝鮮日報が報じたことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は223秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・森友学園問題：結論→特に問題なし

今回の報道は、2016年の学校法人森友学園への国有地売却に関して、売却金額を当初非開示とした財務省の行為を違法とする大阪地裁の判決についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は64秒だった。放送法上は特に問題は見られなかった。

・米政府がメキシコ産品に追加関税：結論→特になし

今回の報道は、米トランプ大統領がメキシコ政府の不法移民対策の不備に対する措置として、メキシコ産品に対する追加関税の導入を発表したことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は28秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・丸山穂高議員の不適切発言：結論→特に問題なし

今回の報道は、丸山穂高議員による一連の不適切発言について、北海道根室市議会から抗議文を手渡された大島衆院議長が謝罪したことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は32秒で特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし